

平成 27 年 8 月 13 日 00234 号

編集者:佐藤 寿春

# 北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【武道館情報】復活！しばらく中断しましたが、このシリーズがまた復活します！ 窓ガラス越しのけいこ風景 第6回目～2階北側通路(強化ガラス越しに)～



主に剣道と少林寺拳法等が利用する「道場2」は、正面玄関(南側)を入り右手に道場1、次に多目的道場、道場2の順に並んでいます。普段は1階武道の広場から窓越しに稽古風景を見ることが出来ますが、2階北側通路からも見学することが出来ます。第20回武道祭では、準備した椅子や床に坐り、剣道の試合を見て頂きました。以前にも紹介しましたが、2階の通路は道場3を挟み左右(北南)に分かれ設けられています。奥に見えるガラス扉は非常口で、通路は観覧し易いように、大きな強化ガラスで出来ています。頑丈な鉄フレームが安全・安心を感じさせています。また、照明設備は天窗からの自然照明と傾斜した天上に光を一旦反射させる間接照明になっているため、稽古や試合中に光が目にし込むことはありません。武道際で応援に訪れた父母の皆さんは、大きな窓ガラス越しに剣道の紅白試合を楽しんでいました。

## 【武道館情報】

## 811 雷雨



8月11日(火)午後1時頃より大きな雷と共に降りだした大雨は、午後3時頃迄集中豪雨となりました。この雨で各地の谷まった道路は浸水し、車が動かなくなるなど交通に障害が出ました。又、落雷による停電で各地の信号機も機能せず、走行中の運転者に緊張感が走りました。その後雨は弱まったものの夕方まで降り続けました。北見市武道館は高まった場所に建てられているため、被害はありませんでしたが中庭の弓道矢道(芝生)が水浸しとなりました。

## 連載 「武道宝鑑」第3弾 文学博士 鹽谷温 〈文武両道〉

江戸幕府に及んでは、武道を重んずると同時に大いに文教をお起し、漢学を以て根柢とした。山鹿素行の如きは単なる兵學者ではない。皇學漢學の造詣頗る深く、中朝事實を著し、大いに武道を鼓吹した。その門下より大石良雄等四十七人の義士を出したことも決して偶然ではない。又水戸義公は尊王の志篤く大日本史を修め、日本精神を發揮せられ、烈公之を後に承け、弘道館を興して一藩の士風を振起せられた。烈公の撰に係る弘道館記に、『忠孝無二、文武不岐』とある。是れ実に水戸学の真髓である。獨り水戸ばかりでなく、時艱に際し、海内の諸藩にこの氣風が横溢して居た。薩藩然り、長藩亦然り。吉田松陰は松下村塾を起して大いに勤王の精神を鼓舞激励し、その士規七則中に、國體の尊嚴を辯じ、忠孝一致を説き、義勇を論じて『士道は義より大なるは莫し。義は勇に因つて行われ、勇は義に因つて長ず』と喝破したところ、実に凜乎たる意氣を見るべきである。宜なる哉、門下より濟々多士を輩出して、大政復古の大業を翼賛し奉ったのである。中略 完